

糸衣司

いとごころものつかさ

・糸衣司とは

この集まりは、2004年12月に始まりました。
小学館から発行された「サライ」増刊「プラチナサライ」という雑誌の中で生まれたのです。
著名なきものライターの高橋孝之さんと頂いた名前が「いとごころものつかさ」だったので。
その時の見出しです。

「特注ブランド 京都の職人集団が始めた 世界に一枚しかない自分好みの着物や帯」

「” 眺える ” 愉快。和服には自分ひとりのために、色や柄、染めや織りなど素材から特注する楽しみがある。ただ、一般の呉服店ではそんな特注に応じきれないこともある。
そこで、着物数寄の要望に答えたいと、「和」の職人集団『糸衣司』が立ち上がった。
(プラチナサライ2004年12月18日抜粋)

まさしく、特注を受けられるつくり手の集団なのです。

着物を着ることが、もっと素敵に楽しくなるように。
そんな想いが京都から始まって、今では大きく広がっています。

平成24年6月に開催しました「伝統工芸と伝統芸能の彩り」展
あのアジア美術館から2年がたちました。

平成26年6月
再び 染・織の創り手の集まりが、博多のまちで
作品展を開催します。
今回も博多のまちには、歌舞伎が来ています。
伝統の技に加えて、伝統の芸能との融合にこだわってみました。

染の高孝 高橋 孝之

1966年 戸塚工芸社入社 父恒治より引き染ばかしと一珍染、
兄更聖より江戸更紗を習得
1974年 独立 工房「染の高孝」を開く 国・東京都 伝統工芸士
現在 東京都工芸染色協同組合 相談役
東京都伝統工芸士会 理事
東京手描き友禅伝統工芸士会 会長
社団法人 日本染織作家協会 正会員 理事
「染の高孝」 代表

some-no-takako.jp

博多織手機技能修士 中野 真由 (旧姓 上野)

1983年福岡県久留米市に生まれる
九州大学教育学部教育心理学科卒業
博多織デベロップメントカレッジにて
博多織を学び始める
博多織手機技能修士の認定を受ける
九州電力による若手伝統工芸家国内外派遣研修制度を受け
京都にて修学
2014 第48回日本伝統工芸染織展 文化庁長官賞受賞はじめ入選多数
現在、博多町家ふるさと館での手織り実演を担当中。

<http://mayuueno.web.fc2.com/>

会期
平成26年6月13日(金)～16日(月)
10:00～18:00 入館は17:30までに
(13日は13:00から 16日は16:00まで)

会場
はかた伝統工芸館
〒812-0026
福岡市博多区上川端町6-1
TEL092-409-5450

服部綴工房 服部 秀司

1958年京都生まれ。
同志社大学卒業。
河合玲デザイン研究所にてテキスタイルを学ぶ。
日本国内での爪搔織織を製作。
近年は、独創的な意匠考案や糸染めを自ら手がけ、
各地で個展を展開。

<http://www.itogoromonotsukasa.com>
info@itogoromonotsukasa.com

